

Lion

IWATE

2017
5
May.

- 周年記念報告
- YCE 留学生からの手紙
- 特集 森⑩
- 国際植樹デー



各クラブ記念式典報告

CN50 周年記念式典を終えて

好季節の4月15日(土)、千厩町・サンプラザ及善において千厩 LCCN50 周年記念式典・祝賀会を勝部修一関市長はじめご来賓の皆様、金野幸造地区ガバナーはじめ地区役員及びブラザークラブの皆様、地区外から宮城県気仙沼 LC 及び交流クラブ締結をしている山形県尾花沢 LC の参加等 230 名の出席のもと開催いたしました。

記念事業は、いわて国体成年女子バレーボール競技会場(千厩体育館)への屋外太陽電池時計の寄贈と千厩町内の5校が統合し来年4月に開校する統合千厩小学校への図書充実資金の寄贈にしました。

祝賀会は、この日オープンしたサンプラザ及善別邸ザ・エスプリにおいて盛大に行われ、日本舞

千厩ライオンズクラブ 会長 L 佐藤 修蔵

踊、三味線演奏等の他、尾花沢 LC と当クラブによる尾花沢上町流花笠踊りが披露され大いに盛り上がりました。

また、この日水沢中央 LC から参加したタイ国の YCE 生クリッサダ・ルアンソン君に参加の記念品贈呈を行い、壇上でインタビューも行われました。

式典・祝賀会を無事終え、会員一同これまでの準備、苦勞が報われた思いで、大変満足の充実した一日になりました。50周年を新たなスタートとして今後も奉仕活動の充実を図り地域社会に貢献していきたいと思えます。

参加していただいた全てのブラザークラブ、ライオンに心から感謝と御礼を申し上げます。

花巻ライオンズクラブ CN55 周年 記念式典・祝賀会

1962年8月、盛岡ライオンズクラブ様のスポンサーにより国内461番目、県内4番目に誕生した我がクラブは、去る4月9日(日)花巻温泉 H 千秋閣において、CN55周年記念の式典・祝賀会を開催。上田東一花巻市長様はじめご来賓の皆様、332-B 地区ガバナー金野幸造様始めライオンズ関係者の皆様、そして、ブラザークラブの方々総勢150余名の皆さんでした。激励のお言葉を頂き、

花巻ライオンズクラブ 会長 L 福岡 勝夫

感激致しました。大震災からの立ち直りを祈念し東南アジアの各国から贈られた楽器を中心に編成された金星少年少女オーケストラのオープニング演奏にひき続き祝賀会。間もなくウェスタンガールの皆さんが、テーブルを回りサービス、ステージでは歯切れ良いダンス。最後は会場で参加者の皆さんと大きな輪でダンス、楽しい思い出をつくって頂いた周年記念でした。

CN35周年記念式典の報告

先般4月23日宮古市浄土ヶ浜パークホテルで行われた陸中宮古ライオンズクラブ CN 35周年記念式典が開催されましたが、お蔭様を持ちまして盛会のうちに無事終えることができました。これも偏に皆さま方のご指導ご協力の賜物とクラブ会員一同心より感謝申し上げます。

他クラブのメンバーに言われましたが、「会員の

陸中宮古ライオンズクラブ 幹事 L 澤田三夫

中に芸能人が2人もいるということは、和と洋の両面にわたっての華やかさが素晴らしかった」と言われたことが印象に残っております。

これからも当クラブはライオンズクラブの精神に基づき精進してまいります。変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

YCE
留学生

クックキックさんを迎えて

タイからのYCE留学生、17歳のクリッサダ・ルアンソン(愛称/クック・キック)さんが岩手にやってきました。一関中央LC(4/2~11)と水沢中央LC(4/12~20)がホストとなり、クック・キックさんと過ごしました。クック・キックさんは、素直で親しみやすい生徒さんで、一関中央LCでも水沢中央LCでもホストファミリーとだけではなく、皆と打ち解けることができました。

一関中央LCの佐藤忠一Lは「須川岳の麓のスノーランドで雪に接し、地震で落下した祭時大橋を眼下に見て、巖美溪で空飛ぶ団子を食べ、サハラガラスパークを見学。狛鼻溪や幽玄洞も見学しました。世界遺産の平泉では金色堂の黄金の輝きと、その歴史に感動した様子でした。スポーツもいろいろと体験し、ゾーン内のゴルフ大会にもゲスト参加していただきました」と、交流の様子を報告。

水沢中央LCでは、会長の佐藤恒夫Lがホスト役を務め、奥州市役所を表敬訪問した後、胆沢ダムや武家住宅資料館、えさし藤原の郷などを見学し、花巻のマルカンビル大食堂の名物であるソフトクリームを体験しました。「一言話ただけで何でも理解してくれました。まるで息子みたい」と佐藤会長。クック・キックさんも岩手に来られて良かったと笑顔で感想を語ってくれました。



一関中央LC



水沢中央LC

REPORT

Please make a report and hand it to your host family before you leave.

NAME KRISSADA RUANSON (77) Country THAILAND (71)

Your Host District: 332 No.

During my stay in Ichinoseki, Iwate, I really enjoy how life is going on here. It is a very nice city as it is so peaceful, quiet, and full of nature that I can't get away with. The residents are very friendly and always share their smiles. Ichinoseki Club Lions Club also took a very good care of me. They even managed to pick me up in Tokyo to travel to Ichinoseki, which is very kind. I feel very honored to be taken care of by them, especially Sakai's family (さかいさん).

They always asked me if every thing's going fine, even we didn't speak the same language. Everyone treated me so nicely that I didn't even feel nervous or anxious from the first day. I would want to say thank you to everyone responsible for my stay in Ichinoseki.

It was an amazing and unforgettable stay, and I'm sure that I'll be back here again someday. :)

お礼状でございます一関市Iwateのさかいさんファミリー
一関大好き♡

クキ

Please attach your pictures to this paper if you have.

クックキックさんより 感謝のお手紙

岩手の一関にいる間、私はとても楽しい生活をすることができました。一関はとても素敵な街で、平和的で静かで自然にあふれていて、私は帰りたくなかった!!

住んでいる人々も又、親しみがあり私に笑顔を見せてくれました。一関ライオンズクラブの方々には私にとってもよくしてくれました。東京から一関に来る時もお世話になりました。とても感謝しています。

特に佐藤家では、私が同じ言葉を話せなくても、いつも何でも言って!と。一日目で落ち込んだり、不安だったりしていた時も、そして一関にいる間も、皆んなやさしく私に対応していただいた事に感謝します。

一関にいる間、とても素晴らしくそして素敵な思い出ができました。私はまたいつか一関に来ます!



シリーズ 森のなかのいわて…共生の道

第10回 豊かな森づくり…一関中央LCの取組

2006年6月「豊かな森」完成を祝って

趣旨はこれまで幾度も繰り返され、今年度の「ライオンいわて」初版7月号の“編集雑感”、1月号の“環境問題について思うこと”などに記されています（編集長・菊地慶矩L記）。今回一関中央LCの過去の取組の一部を紹介したいと思います。

1996年当クラブとして2度目のキャビネット運営となり、ガバナー（故）千葉實Lのテーマを「21世紀に向けて」とし、その中で「地球環境保全」を提言し、4月22日の「国際地球デー」の日を332-B地区の「一斉植樹の日」と決めました。1997年4月22日の国際地球デーには地区一斉植樹を実施し、ほぼ全クラブで行われました。同年5月18日は、千葉實ガバナーの下、332-B地区第43回年次大会が一関市で行われ、記念事業は同年10月落成の一関市博物館（一関市厳美町）に櫟を15本贈呈しました。同年10月、一関中央LCチャーターナイト20周年では、記念事業としては希な「豊かな森づくり基金」を創設しました（会長・佐藤敬治郎L）。



一関市博物館の櫟

記念事業「豊かな森づくり基金」趣旨文

私達は、高度な技術文明と経済活動により高速交通、高度情報化を基盤とした高度な文化と共に快適で利便性の高い文明の恵恩を受けて生活をしています。

しかし反面、地球資源の枯渇、自然災害の多発と共に地球環境の悪化や地域コミュニティや家庭の崩壊による人心の荒廃等と、負の資産として発生し深刻な社会問題となりつつあります。

今、21世紀を間近にして次の世代の人間社会の発展に、地球の大気や水や森がいかに重要な要素であるかに気がついて、地球環境の保全の大切さが叫ばれております。特に、万物の生命の根源である水資源は、飲料水は勿論、農作物の成育、川や沼の動植物を育てると共に、海洋の漁業資源の源であり、その豊かな水をつくる豊かな森林の保護、育成の重要性が認識をされております。

今や、私達LCは、地域社会に密着した奉仕活動と共に、地球規模での奉仕活動に取組む事が不可欠の時代だと思っております。

今後は具体的実践に向けて討議を重ね、我々会員のみではなく、地域社会の人々や他の奉仕団体、公共機関とも連携をとり、この運動の輪を広げて、我が332-B地区を発信基地とした世界LCを中心とする地球的な活動に発展する事を念願しております。

2002年10月一関中央LCのチャーターナイト25周年では、記念事業としては、これも希な「豊かな森づくり」フォーラムを開催し、地域との連携を視野に入れたフォーラムとして地域の9団体を招いて開催しました（会長・菊地慶矩L）。20周年、25周年の両記念事業は各方面から大きな賛辞を頂きました。



今年3月はまだ雪が残る

2006年2月単一クラブのみでの森づくりは取組困難な面が多く、332-B・3R2Zの6クラブ合同で「豊かな森づくり委員会」を立ち上げました。3月には、一関市巖美町字祭時の国有林の植樹承認書を森林管理署より受領し、4～5月は数回にわたり「豊かな森づくり委員会」の会議を開催して取組み検討を重ねました。

2006年6月4日、やっと6クラブ合同で、ブナを主に、カツラ・桜・紅葉など8,000本の苗木を植栽し「豊かな森」が完成しました。同

年10月には、若い苗木が降雪で折れることを心配し、支柱立も行い、数年間は下刈りも行いました。「ライオンいわて」3月号記載の通り、その後の手入れはしておりませんでした。

2017年になり、一関中央LC会長・竹本裕一Lは、「一斉植樹の日」に行動しようと3月末に現場の事前視察に行き、その時の降雪を見て、同日の植樹は断念し時季を見て行うこととしました。



2006年、豊かな森の完成を目指して汗を流した

あの「豊かな森」完成から10年が過ぎ、当クラブも若い仲間が半数を超えました。これまでも一関中央LCが植樹した箇所はたくさんあります。新しい仲間とその実績を確認し合い、LC100年の節目に、過去を尊び、そして未来に向け「地球環境保全」をテーマとし、次世代に引き継ぐための一歩を踏み出そうと思います。

取材・文／副編集長 L小野寺 進



過去の写真を手掛かりに私たちの森の現状を確認してみました。手入れをしないと歩くのも困難になります。

でも当時の熱い気持ちを思い出し、なつかしい気持ちで歩きました。



アクティビティ2057年のある日

～フィクション～

キャビネット筆頭副幹事 L 高橋 恒司

<エピソード1 進化した介護の世界>

約40年前に開催された東京オリンピック以降、急速に進化した自動運転自動車に乗り、太郎は、今日の巡回先に向かった。

第2次モータリゼーションによって、人間の能力に頼っていた「運転」という行為が大きく変わったのである。人々は「運転すること」から解放され、自動車はもっぱら「移動手段の道具の一つ」になっていた。昔ながらのスポーツ・レジャーとして純粋にドライビングを楽しむことも無くなってはいないが、今や自動車は、動く「書斎」であり、目的地までひと眠りさえできる「寝室」なのである。温度センサーが外気を測定し、季節に応じて冷暖房がきいた快適な車内を維持。音声認識機能のおかげで、玄関先の太郎が立つ足元まで迎えにやってくる次第である。

自動運転の制御システムは、当然のことながら自動車の衝突事故を皆無にした。さすがにまだ、自動車保険加入はしているがおそらくお世話になることは無さそうである。

一関地区第3エリアに到着した太郎は、車を停めた。ここからは徒歩だ。太郎は散歩しながらボランティア活動をしているのである。100歳以上（昭和32年生まれ以上）の一人暮らしのお年寄りの住まいに立ち寄って、声をかけたり、短い会話を交わしながら次々と進んでゆく。介護ロボットの普及で老人介護ホームは姿を消し、自宅介護中心の時代になった。安否確認は自動確認できるものの、コミュニケーションだけはやはり人の役目である。太郎は今、一関地域の3エリアを受け持ち、合計で60



軒のシルバーサポーターをしているが、いずれは、100軒くらいまで増やせると思っている。
.....

<エピソード2 テクノロジーとボランティア>

太郎にとって水泳は20代から続けているスポーツだ。そして泳ぐことは、健康増進・ストレス解消などに十分役立っている。

今や、その水泳が奉仕活動にもなる時代だ。第3のエネルギー源開発が進んだ結果、「泳ぐときに立つ波の力」がプール壁面に設置された発電装置を動かし、生まれた電力は、優先的に高齢者保護世帯および公共機関へ供給されるシステムになっている。

テクノロジーとボランティアの融合は、経済社会の様々な場面で生かされ、世界最大の奉仕団体であるライオンズクラブは、その運営管理を委託され、コーディネーターとして重要な役割を担っているのだ。
.....



<最後に>

組織から個に移っていく時代の流れの中でも、多くの人には持続性ある価値ある組織に所属したいという思いがあります。それは「社会に存在する価値があるから所属する価値がある」という思いです。それによって仲間が増え、価値ある社会によって更に仲間が増えるという循環が理想です。そうでなければライオンズクラブは、他のカルチャークラブと何ら変わらないことになるからです。

いつの時代にも変わらぬものとして、大切なのは「心がどこにあるのか」ということではないでしょうか。

カンボジアの学校開校式出席について

332-B 地区 第二副地区ガバナー L 猿舘 伸俊

去る3月10日頃、332-B地区キャビネット幹事 L 鈴木雅彦より、332 複合地区アワード行事の一環として、カンボジアの学校落成式が4月2日に挙行されるとの事。複合として B 地区で地区ガバナー金野幸造 L 外、三役が諸般の事情でどうしても都合できかねるので第二副地区ガバナーとして是非との依頼に基づき、渡航の手続きと相成りました。現地訪問には“ビザ”が必要との事で、手続きが完了したのが3月21日でしたので、アワードの予備知識も無く4月1日羽田発0時40分に搭乗しました。

当日第二都市シムリアップにて夕刻より歓迎式典があり、332A ガバナー、332MD 議長柳本英洋 L 外9名と複合で26名、現地の有力者、合わせて95名の出席のもと、19時30分よりレセプションが開催されました。シムリアップ アンコールワットレオクラブ認証状伝達式と、シムリアップ アンコールワットライオンズクラブ結成5周年記念式典、併せてテク・レク中学校落成前夜祭が19時30分より始まり、式典内容は日本と同じく開会ゴングに始まり、来賓挨拶等々。終了が21時30分頃で、時間のルーズさが気になりました。

翌日はテク・レク中学校落成式出席の為ホテルを朝8時に出発し、車で北東に1時間半のベンリアという地へ向かいました。到着してすぐ式典が始まり、校舎の前に中学校贈呈者の日本のライ

オンズクラブ国際協会 332 複合地区の地区ガバナーがローマ字で「District Grvenor.L.KOZO. KONNO」などと銘記されていました。

贈呈内容は、テク・レク中学校校舎平屋建1棟（屋根瓦）、校舎面積9m×40m…約360㎡、教室5室、生徒数260名（小学校と中学校の合計）、電気が無いところなのでソーラーによる発電でシーリングファン、水道用ウォータータンク、勉強デスク（これはコンパネで作った簡単なもの）。合計金額 約1千万円との事。

式典には332複合議長、シムリアップ教育長、副知事、シムリアップライオンズクラブ会長、同初代会長、ゾーンチェアパーソン、日本国大使館、地元父母生徒合わせ、約300名で盛大に終了して参加して来ました。

思うに此の地域はポル・ポト政権で170万人の大量虐殺された地域で、貧困で経済も立ち直る事も出来ず、その環境は日本の約50年前を想像するに、私は中学卒業生で集団就職の時代でした。シムリアップは現在のはめまぐるしい経済発展を遂げておりますが、一歩郊外に出れば、全く貧困との戦いで生活しています。その為教育の必要を求められてもその教育機関が整備されていませんから、ライオンズのアクティビティの行事としての意義を感じ、ウィサーブの合言葉を末端まで全員モラルアップと会員増強に努めなければならないと感じながら帰国の途につきました。



連載

あづま海道を行く

—その9—

ぜしんぼう 是信房墓所と大巻館



花巻の国道456号沿いには、熊野神社とか戸塚森など訪れたい場所がまだあるが、振り切って紫波町に入り、彦部産直「楽々」でコーヒータム。

そのすぐ隣が石ヶ森の「是信房墓所」参道になっている。知識不足とは言え、最初この名を見た時「これ のぶふさ」と読み、資料を見て赤面。「ぜ しんぼう」だった。紫波町指定史跡になっており、その解説板を読む。

「是信房は浄土真宗の開祖親鸞聖人の高弟二十四人中の一人とされている。師命によって東北地方に下り各地に寺院を開いて宗門の布教に努めた。当地の石森山本誓寺(後に盛岡に移転)もそのひとつである。是信房は俗名を吉田大納言藤原信明とする説と三位源頼政の曾孫宗房とする二説がある……」

時代的には平安末期、源頼朝が鎌倉幕府を樹立する前後の戦乱期で、親族が崩壊したことにより武士を捨て、親鸞の弟子になったということだろう。逸話の中には「是房の叔父の妻は源義経の娘」という話もある。確かに、義経には正妻に

3人、静御前に1人の子供がいたと言われるから、一人くらい嫁に行っても不思議はないが、この話しはこれ以上妄想しないで次に移動します。

是信房墓所から国道456号を北へ、野村胡堂あらえびす記念館を横目に2500mほど進むとんだらかな稜線の山が見えて来た。館山という。道端に大巻館跡入口の標識があったので、道路脇に車を止め資料に目を通す。

築城時期は不明だが、文治5年(1189)の奥州藤原氏崩壊の時、敵方として相模国足柄郡(神奈川県)から参軍した河村四郎秀清が祖と言われ、軍功として岩手郡、斯波郡の北上川東岸を所領として宛がわれ、曾孫の秀興の時、築城したと伝えられている。その後、南北朝の混乱期を経、斯波氏と南部氏の狭間をかいぐり生き延びたが、天正16年前後(1588)、斯波氏の滅亡と共に400年の歴史に幕を閉じたという。

その大巻館の跡を散策する。何の変哲もない樹林生い茂る山道だが、切岸や堀の跡が至るところに見え隠れし、城郭であったことが偲ばれた。



静寂な森に佇む是信房墓所



大巻館跡の入口

シダレカツラと蝶ヶ森

盛岡市黒川の高陣山から4kmほど北進すると都南大橋東の信号機にたどり着き、住宅街に右折。前方にもっこりとした「関口家のシダレカツラ」が見えてきた。

この樹は国指定天然記念物で新日本名木百選にも選ばれており、400年ほど前に大ヶ生の龍源寺の和尚様が早池峰山で採取し植栽したのが始まりとされ、現在の樹は三代目にあたるという。樹齢は140年、樹高22m、幹周3.26mと記されている。

シダレカツラは通常のカツラと比較して、枝に付く葉の数が多いのが特徴で、葉に厚みがあるので、茂った時の樹容は重装備となって一変したものになるという。元来、カツラの樹は直立型の枝を生じるが、この樹はしだれており、学術上、変種とみなされているとのこと。



国指定天然記念物のシダレカツラ

シダレカツラの右前方に見える山が蝶ヶ森。古来、蝶々が多く飛んでいたから「蝶ヶ森」となったのか、名前にひかれて訪ねて見ることにした。シダレカツラの場合から徒歩で行けば近いのだが、周辺に駐車場もなく、散歩中の方に尋ねたら右回りに一周すれば駐車場があるとの返事。

早速国道396号に抜け北上、東安庭のタイヤ館を右折、岩大附属支援学校を左手に住宅街から、広大なりんご畑の中を通り抜け、到着した所はナント墓地の駐車場でした。霊験あらたかに急勾配の道を頂上へ。しかし、肝心の展望台からは樹林に囲まれ市街も岩手山もスッキリ見えない。

ちょっとだまされ気分です。駐車場におり、気を取り直し、墓地の最上段付近に向い、振り返って見たら絶景。北上川を左手に、盛岡市街そして岩手山が青空の下に広がっていました。この景色、夕暮れ時ならさらに感動するに違いない。

ところで蝶々は？今日は平成29年4月17日、まだ寒いので舞いおりにこないか。残念。

ルポ／梅木隆詩



蝶ヶ森から盛岡市街と雄大な岩手山を望む

全国南 LC 友好会が盛岡で開催



キャビネット幹事 L 鈴木 雅彦

ご存知でしたか、サウス会。全国のライオンズクラブでクラブ名に南と付くクラブの友好会です。今年が第38回目の開催で、盛岡南 LC がホストクラブとなって開催されました。

藤巻盛岡大会会長（盛岡南 LC 会長）の開会ゴングで式典が厳かに開会致しました。まるで年次大会さながらの格式ある式典に感心させられました。参加者総数は250名、北は北海道、南は鹿児島から多くのライオンが集まりました。

式典に続いて祝宴の部では盛岡第二高等学校箏曲部の生徒さんによる演奏でオープニング。そ

して盛岡の地酒で鏡開き。会場は旧交を温める大交流会となり、大盛り上がり、そして「ミスさんさ」によるさんさ踊りで会場のボルテージは最高潮に達しました。次回開催ホストクラブの松山南 LC から PR があり、最後は大きな大きな輪で「また会う日まで」。ライオンズの醍醐味を肌で感じさせて頂きました。その夜は大勢のライオンが盛岡の街で雄たけびを上げたとか…。翌日は観光・ゴルフに分かれて岩手を満喫して頂いたと聞いております。ホストクラブを務められた盛岡南 LC メンバーの皆さんご苦労様でした。



皆様のお越しをお待ちしています

第63回年次大会、まもなく開催!

会場はこちらです

一関文化センター



▲ 大ホール
大ホールでは
式典が行われます。

▼ 中ホール
代議員会が行われる中
ホール。大会セミナーは
小ホールで行われます。



一関市総合体育館



▲ 屋台スペースはこちら
ここにたくさんの屋台が並びます。お楽しみに!

開催会場の事前清掃

2017年4月になり各クラブ宛に、ガバナー及びライオンいわて編集長より、4月22日の「国際地球デー」にちなんだアクティビティ取組についての報告依頼がありました。当一関中央LCでは予期していたことであり3月末に会長・竹本裕一L、幹事・鈴木和行Lが4月22日の一斉植樹の取組をライオンの森整備の一環と考え、10年前に3R2Z6クラブ合同で実現した「みんなで育てよう…豊かな森」の看板のある場所、国道342号沿い(11月号、3月号記載関連)を視察しました。国道路面は除雪効果もあり雪はありませんでしたが、森の入り口からは約1m程の積雪(除雪の雪も含む)があり、同日の植栽は断念し時季を見て実施することにしました。

そこで国際地球デーでは、5月14日(日)開催の第63回地区年次大会祝賀会会場となる一関市総合体育館(ユードーム)の駐車場及び周辺の前清掃を行うこととなりました。訪れる仲間たちを気持ち良くお迎えしたいと思い、早朝から活動。開催当日が今から楽しみです。たくさんのご来関をお待ちしております。



国際地球デーにちなんだアクティビティ

室根ライオンズクラブの アクティビティ

岩手県内トップをきって4月9日、室根山山開きが行われた。

室根山山開きの前に室根ライオンズクラブでは、桜の名勝地「蟻塚公園」にライオンズクラブ国際協会100周年記念植樹を行った。100周年記念という事で会員からヤマザクラの苗木を注文し、会員手作りの標柱を作成し、会員が直筆にて国際

協会100周年の文字を刻んだ。

苗木も直径10cmほどの太い苗木で、数名の会員が前日に穴を掘って準備を行った。植樹には会員14名が参加したほか、一関副市長、一関市役所室根支所長、室根山観光協会長にも参加していただき、植樹セレモニーを行った。その後、室根山山開き行事に参加し山頂を目指して登山を行った。途中、8合目室根神社で安全祈願を行い、所々の残雪を見ながら山頂へ到達した。

藤沢岩手ライオンズクラブの アクティビティ

去る4月13日100周年記念事業の一環として当藤沢岩手ライオンズクラブは、一関市立藤沢こども園にて「ヤマボウシの苗木2本」の植樹作業を実施。

第一例会日でもあった当日は、午後5時にこども園に集合、園児と共に交流しながら作業を実施しました。園庭の一部、ブランコの後ろの花壇に植樹会員が穴を掘った場所へ苗木を植え込み、園児も小さな手でショベルを持ち、土をかけ共に作業「大きくなあれ」の掛け声のなか、土をかけ

る園児の姿はとても微笑ましいものでした。苗木は「ヤマボウシ」。花が咲き、葉も紅葉し、丸く赤い実もつけて四季を通し変化を楽しみながら成長過程を感じることができる樹です。

地域の宝である子どもたちの成長を我々と共に見守ってくれることでしょう。



盛岡ライオンズクラブの アクティビティ

植樹場所はその時々で異なりますが、19年以上続けているアクティビティです。

ここ数年は盛岡市の中央公園（県立美術館側）へ八重紅枝垂桜を3本ずつ植樹してまいりました。今年度は寒さ等に強い大山桜の大きいものを1本植樹致しました。



盛岡	4月22日	盛岡市中央公園 (県立美術館側)	盛岡市へ桜の木の植樹活動を実施。ここ数年は同場所へ八重紅枝垂桜を毎年3本ずつ植樹。今年度は大山桜(大きめのもの1本)を植樹予定。
盛岡中津川	未定	盛岡市立仁王小学校を予定	100周年記念植樹。
滝沢	4月27日	滝沢市相の沢キャンプ場 周辺(鞍掛山登山口)	2017年4月で23年目の活動を迎えます。「昭和の日」鞍掛山山開きに先立ち、周辺道のゴミ拾いや駐車場わきの側溝の泥上げ、「山桜」の剪定作業を行います。県内外から訪れる登山者を気持ちよく迎えたい。活動風景を滝沢市HPに掲載します。
西根	5月2日	ライオンの森	ライオンの森の草刈り。ユリノキの枝切り作業を計画中。
西根	6月中		100周年記念の植樹を計画中。
西根	6月下旬	岩手山焼走りマラソン全国大会会場	岩手山焼走りマラソン全国大会会場開催前コース清掃を計画中。
安代	4月29日	八幡平市立桜松公園	いちようの木植樹。公園内の歩道を清掃後、いちようの苗木を植樹。
花巻	4月22日	花巻温泉からスタートの自転車道路	自転車道路清掃。
紫波	5月中旬	紫波町役場庁舎南側広場	当クラブ50周年、ライオンズクラブ国際協会100周年、国際地球デーをすべて合同で行います。「オガールエリア」内にシンボルツリーとして町木であるけやきの木を植樹します。町章、LCのマーク、100周年ということ刻んだ石碑も併設する予定です。
大迫早池峰	未定	レオの森	植樹を予定。
花巻東	4月22日	ライオンズの森	花巻東LCライオンズの森の山開き、清掃活動を行う予定。その時5月に予定している植樹の検討を行う。
北上	4月9日	展勝地桜並木横	桜並木横のあじさいロードの下草刈りと清掃作業。緑化推進事業。ゾーン内LC共同ACT。
北上国見	4月21日	北上市役所本庁舎 (秘書室)	「北上市の花、山ゆりの球根代贈呈」北上市長さんを通じて北上市花いっぱい推進協議会へ球根代(5万円相当)進呈。ゆりの球根(180個)の植え付け作業は11月に会員メンバーも参加。花いっぱい協議会会員とともに実施している。継続21年目。
水沢LC	4月中を予定	大船渡市赤崎小学校	昨年寄贈した桜10本のうち校庭外に植えた1本の移植作業と残り9本の植樹ネームプレート作製及び設置作業
江刺岩手	4月20日	奥州市江刺区向山公園展望台付近。	国際地球デーにちなんで一斉植樹。オオヤマザクラ数本植樹予定。20,000円抛出予定。
前沢LC	4月20日	前沢区お物見公園内	桜の植樹
水沢中央LC	4月22日	(社福)ひまわり会「はっぴいういんぐ」(奥州市水沢区)	サクラ1本を植樹
金ヶ崎	4月22日	ホテルみどりの郷周辺	ホテルみどりの郷周辺の清掃活動を行う。対応人数15名の予定。
胆沢岩手	調整中	胆沢中学校	桜の木を植樹予定(20本くらい)。4/1に開校する学校。
平泉	4月22日	弁慶松小公園	環境整備ACT。草刈り、剪定作業。
一関中央	4月22日	一関市総合体育館前	5/14開催地区年次大会祝賀会会場の事前清掃を行います。尚、時期はズレますが、雪解けにはライオンの森に植樹を計画中です。
一関巖美溪	未定	巖美溪溪畔	過去に植樹した記念樹(桜・イロハモミジ)に対してのメンテナンス・追肥を行います。
大東岩手	4月下旬	大東小学校	大東小学校へ花(プランター5個)予算30,000円相当を寄贈予定。
東山LC	5月2日	(有)中村解体敷地内	道路沿いの敷地約100mにわたり、桜の苗木を10本ほど植樹する予定。道路沿いであることから、道行く人々に桜並木の景観を楽しんでもらえることを期待しています。
藤沢岩手	4月13日	一関市立藤沢子ども園	100周年記念植樹。子ども園へ「やまぼうしの木」植樹。後日花の植栽も計画あり。
川崎岩手LC	4月29日	川崎あじさい公園(陸中門崎駅前)	あじさい(品種:フレナイ)5本植樹
室根	4月9日	蟻塚公園	室根山山開きに国際協会100周年記念植樹の標柱を立て、ヤマザクラの苗木を全員で蟻塚公園へ植樹しました。一関市副市長にも参加していただきました。
大船渡	4月23日	三陸自動車道船河原パーキング	45周年記念事業椿100本植樹公園
久慈	4月27日	久慈川河川敷公園	ツツジの苗木の植樹。10年程前より植樹をしている。昨年の台風10号の被害にあった箇所への補植を行う。一部岩手県企業局の植樹活動支援金を活用する。
遠野	4月19日	遠野蹄鹿排水公園 (遠野ライオンズクラブ梅園)	1982年に植樹した梅の木の剪定作業と清掃を行います。※7月には遠野市の仮設入居者を招待して梅の実の摘み取りを行っています。
釜石リアス	4月22日	釜石市大渡町~浜町入口	歩道上のゴミ拾い。
陸中山田	4月22日~ 5月28日	ふれあいの森林、 船越公園	4/22にふれあいの森林の環境整備作業を実施。5/28に船越公園(災害復旧工事が完了)にて友好クラブ、団体等とともに100周年記念植樹を実施。約400本の桜を植樹する予定です。参加クラブは陸中山田、弘前東奥、北上国見、江釣子など。

(2017年4月25日現在)

3月のアクティビティ

1R1Z		
盛岡 LC	—	
盛岡不来方 LC	9日	みちのくこども療育センター「不来方ライオンズ文庫」へ図書寄贈
	29日	ひかりの箱募金
盛岡中津川 LC	3日	陸前高田市竹駒保育園支援事業「大型紙芝居寄贈」
盛岡観武 LC	2月28日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト ポスターパネル展
	1日	「未来へつなごう!ライオンズの絆〜東日本大震災体験文集」発行
	19日、20日	こども食堂
	21日	ひかりの箱募金
盛岡南 LC	13日	ひかりの箱募金
滝沢 LC	2日	図書カード寄贈
	14日	ひかりの箱募金
玉山姫神 LC	8日	ひかりの箱募金
1R2Z		
岩手 LC	14日	沼宮内高等学校教育振興会
	27日	献血推進活動
二戸 LC	14日	ひかりの箱募金
西根 LC	23日	献血推進活動
	24日	第26回岩手山焼走りマラソン全国大会実行委員会
安代 LC	15日	ひかりの箱募金
	23日	献血推進活動
2R1Z		
花巻 LC	15日	ひかりの箱募金
	27日	2R1Z 合同アクティビティ 台風10号被災者への義援金
紫波 LC	7日	ペットボトルキャップ回収箱の設置
	22日	献血推進活動
石鳥谷 LC	1日	花北青雲高等学校卒業式
	12日	石鳥谷中学校卒業式
	30日	2R1Z 合同アクティビティ 台風10号被災者への義援金
大迫早池峰 LC	5日	梅園の剪定作業
	15日	2R1Z 合同アクティビティ 台風10号被災者への義援金
花巻東 LC	27日	2R1Z 合同アクティビティ 台風10号被災者への義援金
	27日	台風10号義援金送金
東和猿ヶ石 LC	27日	2R1Z 合同アクティビティ 台風10号被災者への義援金
矢巾 LC	1日	矢幅駅に雨傘の補充
	26日	すくすくネットワーク巡回指導
	30日	2R1Z 合同アクティビティ 台風10号被災者への義援金
2R2Z		
北上 LC	2月1日~28日	資源回収リサイクル
	1日	アイバンク登録
	15日	あけぼの福祉作業所へタオル寄贈
	17日	ひかりの箱募金 送金
	27日	献血推進活動
	30日	健康啓発セミナー

和賀 LC	3日、9日、24日、29日	献血推進活動 6回
	7日	ひかりの箱募金
	24日	使用済み切手 6500枚送付
北上国見 LC	9日、26日	献血推進活動
	11日	東日本大震災 山田町犠牲者追悼式参加
	14日	ひかりの箱募金
江釣子 LC	28日	使用済み切手 2309枚送付
	8日、27日	資源回収リサイクル活動
	12日	献血推進活動
	15日	ひかりの箱募金
3R1Z		
水沢 LC	5日	献血推進活動
	9日	ひかりの箱募金
江刺岩手 LC	7日	江刺さくらまつりボンボリ提灯
	4日、5日	第16回江刺岩手 LC 旗中学生バレーボール大会
前沢 LC	19日	献血推進活動
水沢中央 LC	1日	ひかりの箱募金
	24日	使用済み切手 10365枚送付
金ヶ崎 LC	13日~17日	小学校6年無欠席・小中通算9年間無欠席表彰
	15日	ひかりの箱募金
	17日	金ヶ崎町立第一小学校卒業式
	19日	「蘇れ!高田松原」復興支援
胆沢岩手 LC	13日~17日	奥州市胆沢区内小中学校7校対象「優良児童生徒表彰」
3R2Z		
一関 LC	15日	ひかりの箱募金
平泉 LC	7日	ひかりの箱募金
花泉 LC	15日	新入学児童にランドセルカバー 贈呈
一関中央 LC	6日	使用済み切手 1000枚送付
	7日	一関二校レオクラブ・一関中央 LC 合同 ACT「花の設置」
	10日	ひかりの箱募金
	24日	台風10号に対する義援金
一関殿美沢 LC	10日	使用済み切手 2000枚送付
4R1Z		
千厩 LC	2月28日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト表彰式
	6日	新入学児童に「黄色いランドセルカバー」贈呈
	14日	ひかりの箱募金
大東岩手 LC	1日	大東町内新入学児童に「黄色いランドセルカバー」贈呈
	13日	ひかりの箱募金
	13日	興田小学校「寄席」実施
東山 LC	15日	東山中学校卒業式
	17日	東山小学校卒業式
藤沢岩手 LC	3日	藤沢こども園ひな祭り ひなあられ贈呈
	6日	藤沢子ども園に砂場用砂贈呈
	15日	ひかりの箱募金
川崎岩手 LC	28日	献血推進活動
室根 LC	12日	折壁駅の桜の木の手入れ

4R2Z		
大船渡 LC	24日	声の図書館の点検と整備
	25日	佐久 LC 合同大船渡地区ミニバスケットボール交流親善試合
	29日	ひかりの箱募金
陸前高田 LC	11日	鎮魂の碑 (ライオンズの森) 清掃
	14日	ひかりの箱募金
住田 LC	24日	音声通訳ボランティア団体に活動資金助成
大船渡五葉 LC	2日	赤崎中学校 記念植樹
	30日	台風 10 号義援金
5R1Z		
宮古岩手 LC	-	
久慈 LC	9日	三船十段胸像清掃活動
	12日	桜の木のてんぐ巣病駆除作業
陸中宮古 LC	4日	陸中宮古 LC 旗争奪剣道大会開催
	8日	スポーツ文化振興基金表彰式
	11日	「震災慰霊 7 回忌法要 鎮魂 夢灯り」開催
	14日	レディの会奉仕活動
	21日	百獣の王「ライオンコンペ」(事業資金獲得)
田野畑 LC	-	
岩泉龍泉洞 LC	30日	済生会病院前 花壇整備
	30日	使用済み切手 250 枚送付
5R2Z		
釜石 LC	1日	釜石商工高等学校卒業式
	9日~11日	鎮魂の碑清掃、梅苗植樹
	11日	東日本大震災犠牲者追悼式
	11日	釜石・大槌仏教会主催東日本大震災追悼
	15日	第 429 回 LL 奉仕活動

遠野 LC	1日	リサイクル品の回収
	10日	アイバンク基金
	17日	LCIF \$1000 献金
釜石リアス LC	11日	鎮魂の碑清掃
	11日	東日本大震災 犠牲者追悼式
	12日	震災より 6 年携わず屈せず! 釜石復興への道のり チャリティコンサート
	14日	ひかりの箱募金
	22日	使用済み切手 1000 枚送付
大槌 LC	11日	希望の灯に献花
陸中山田 LC	11日	東日本大震災山田町犠牲者六周年追悼式
ライオネスクラブ		
西根 LS	23日	献血推進活動
	24日	第 26 回岩手山焼走りマラソン全国大会実行委員会
レオクラブ		
盛岡 LEO	12日	マナー講習
早池峰 LEO	-	
石鳥谷 LEO	-	
北上 LEO	20日	薬物乱用・喫煙防止啓発セミナー
一関二高 LEO	7日	サイネリア 120 鉢を一関警察署、一関市役所に設置
釜石 LEO	-	

会員動向

3月 新入会員一覧

クラブ名	会員名 (新入 / 再入 / 転入)
盛岡観武 LC	宇都宮 加奈子
西根 LC	遠 藤 忠 寿
	川 村 絵里果
	川 村 智 哉
	川 村 博 昭
	川 村 由 里
	工 藤 敦 美
	八重樫 啓 子
北上 LC	阿 部 あさ子
	阿 部 裕 子
	小瀬川 敦
	佐 藤 晶 子
	菅 原 友 子
	八重樫 敏
北上国見 LC	及 川 純 子
一関中央 LC	鈴 木 友 香
	千 葉 友 子

クラブ名	会員名 (新入 / 再入 / 転入)
陸前高田 LC	高 橋 寛 信
久慈 LC	新 里 治 子
	谷 地 美恵子
	井 上 幸 子
	對 馬 朋 範
	圃 田 廉
	堀 口 忠
陸中宮古 LC	小田代 直 子
	小 成 朋 志
	古 館 由佳子
	袈 屋 英 輝
	森 分 和 基

3月 LCIF \$1000 献金

クラブ名	会員氏名	MJF 回数
遠野 LC	佐 藤 圭士郎	1



アクティビティ フォトグラフ

安代LC



献血推進活動

盛岡みたけLC



こども食堂

石鳥谷LC



植樹

矢巾LC



台風10号被災地支援

大東岩手LC



興田小学校「寄席」

釜石LC



植樹祭



2015年に続き2回目のフィリピンVisayas地方への支援活動、今回は当クラブの会員及び有志の方々のご協力で多くの古着を提供していただき約80kg入りボックス3箱と50kg入りボックス1箱を発送準備。3日間程度で仕分けと梱包作業を経て2016年11月18日にフィリピンバゴロドへ向け発送しました。12月のクリスマスに間に合うことを願っていましたが、予想以上に時間が掛かり着いたのは2017年1月5日でした。現地では市役所の方々及びボランティアの方々が仕分け等を行って子供たちの古着やシューズを約50人に配布、家庭向けの古着等（一部新品）約400人の人々に配布されたようです。一関中央LC会長 竹本裕一 Lへ感謝状と配布中の写真等が送られて来ました。次年度もこの様な取り組みが継続されることを願っています。

一関中央LC L 熊谷 朝明

《表紙の写真：骨寺村荘園遺跡》

一関市街地から国道342号線を、西の栗駒山（須川岳）に向かって進む途中にある風景です。骨寺村荘園遺跡は、かつて中尊寺の経蔵別当の所領だった場所で、奥州藤原氏ゆかりの遺跡です。現在も当時の風景を残している貴重な遺産です。

編集後記

「九十歳。何がめでたい」（小学館）をご存じだろうか。作家・佐藤愛子氏のエッセイで、最近話題になっている一冊だ。NHKのニュース番組でも特集が組まれていたほど。大正12年生まれの佐藤氏は93歳。「怒れる作家」とも称され、講演会やテレビ出演などで世間を厳しく批判する方としても知られている。そんな彼女のエッセイ集である「九十歳。～」は、半ばやけくそ気味に執筆したとのことだが、90年間生きているからこそ、生まれる言葉にリアルさがある。このエッセイ集を“年寄りの愚痴だろう”と斬り捨てる方もあろうが、その愚痴にもエスプリを利かせるところが愛子流とでもいうか。久しく笑っていない諸氏はぜひ一読を。

（ライオンいわて編集委員一同）

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

ライオンいわて編集委員会

発行日 2017年5月15日

発行人 L 金野幸造

編集長 L 菊地慶矩（一関中央LC）

副編集長 L 小野寺進（一関中央LC）、L 佐藤正彦（一関LC）

編集委員 L 村上耕一（平泉LC）、L 菅原徳哉（花泉LC）、

L 熊谷嘉高（花泉LC）、L 菅原公正（一関中央LC）

L 伊藤和江（一関巖美溪LC）

印刷 川崎印刷株式会社 〒029-4194 西磐井郡平泉町平泉字佐野原21

TEL:0191-46-4161 FAX:0191-46-4165

E-mail:kiiyoe.s@kpc.co.jp

キャビネット事務局 〒020-0022 盛岡市大通三丁目6-12 開運橋センタービル4-7号

TEL:019-621-1415 FAX:019-621-1420

E-mail:office-332bmorioka@almond.ocn.ne.jp